

各関係機関長 様

佐賀県農業技術防除センター所長

平成26年産水稻にかかるトビイロウンカ及びコブノメイガの 発生予想パターンについて（第2報）

本年の海外飛来性害虫については、7月14日時点での発生予想パターンを第1報としてお知らせしたところです（病害虫対策資料第8号）。

今回、7月15日までの飛来状況（表1、2）と気温の経過をもとに、トビイロウンカ及びコブノメイガの発生パターンを新たに作成しました（図1、2）。各地域における発生状況の把握や防除要否の検討に当たっての参考としてください。

記

1. トビイロウンカ

1) 飛来状況

7月4日、7月14日を中心に飛来したと考えられる（表1、2）。なお、圃場への定着は、7月14日飛来虫の方が多と考えられる。

2) 防除対策

- (1) **防除適期は、幼虫ふ化揃い期**である（図1）。
- (2) 7月下旬～8月上旬に10株あたり成虫及び幼虫の合計値が2頭以上みられた圃場では、第一世代幼虫ふ化揃い期に防除を行う。
- (3) 飛来量及び本田での増殖量は地域及び圃場ごとに異なるので、必ず各地域及び圃場ごとの発生状況を確認する。
- (4) 本種の増殖率は極めて高いことから、飛来量が少なくても坪枯れの被害を発生させることがあるため、今後の発生状況に注意する。
- (5) 本種の生態や防除対策の詳細については、「病害虫防除のてびき」や「トビイロウンカの生態と防除に関するQ&A」^{注)}を参照する。

注) 農業技術防除センターのホームページ (<http://www.pref.saga.lg.jp/web/boujo.html>) トピックスに掲載中。

2. コブノメイガ

1) 飛来状況

6月22～24日、7月4～6日を中心に飛来したと考えられる。（表1、2）。

2) 防除対策

- (1) 防除適期は、発蛾最盛期の7日後（幼虫ふ化揃い期）である（図2）。
- (2) 飛来量及び本田での増殖量は地域及び圃場ごとに異なるので、必ず各地域及び圃場ごとの発生状況を確認する。

3. 今後の予想等

今後、新たな飛来波が加わる可能性もある。最新の飛来状況については、農業技術防除センターのホームページ（<http://www.pref.saga.lg.jp/web/boujo.html>）における「海外飛来性害虫情報」を参照のこと。

表1 ウンカ類及びコブノメイガの飛来状況（平成26年）

月	日	トビイロウンカ					セジロウンカ					コブノメイガ						
		佐賀県			長崎県		佐賀県			長崎県		佐賀県				長崎県		
		佐賀市	佐賀市	嬉野市	諫早市	諫早市	佐賀市	佐賀市	嬉野市	諫早市	諫早市	佐賀市	佐賀市	神埼市	伊万里市	白石町	嬉野市	諫早市
ネット	ライト	ライト	ライト	ネット	ネット	ライト	ライト	ライト	ネット	フェロモン	粘着	粘着	粘着	粘着	粘着	フェロモン	フェロモン	
トラップ	トラップ	トラップ	トラップ	トラップ	トラップ	トラップ	トラップ	トラップ	トラップ	トラップ	(20W蛍光灯)	(20W蛍光灯)	(20W蛍光灯)	(20W蛍光灯)	(20W蛍光灯)	トラップA	トラップB	
6月	1日	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	15日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	16日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	17日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	18日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	19日	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0
	20日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	21日	0	0	0	0	0	0	0	1	10	0	0	0	0	0	0	1	0
	22日	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	7	0
	23日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0
	24日	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	8	0
	25日	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4	0
	26日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	27日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0
	28日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0
	29日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0
	30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0.5
7月	1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
	2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
	3日	0	0	0	0	0	1	0	1	14	0	0	0	0	0	0	1	0
	4日	0	0	2	1	0	2	0	5	18	0	0	0	0	0	0	2	0
	5日	0	0	0	0	0	0	0	10	6	0	0	0	0	0	0	9	1.5
	6日	0	0	0	1	0	0	0	63	22	0	0	0	0	0	0	13	0.5
	7日	0	0	1	0	0	0	0	27	4	0	0	0	0	0	0	0	0.5
	8日	0	0	0	0	0	0	0	5	3	0	欠測	0	0	0	0	1	2
	9日	0	欠測	0	0	0	0	欠測	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2.5
	10日	欠測	0	0	0	0	欠測	0	1	3	0	0	欠測	0	0	0	0	4.5
	11日	0	0	1	1	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	2	0
	12日	0	0	0	0	0	0	0	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0
	13日	0	0	0	18	0	3	0	4	58	0	0	0	0	0	0	0	5.5
	14日	0	0	7	4	0	1	0	58	186	0	0	0	0	0	0	2	3.5
	15日			0	0	0			3									

注1) ウンカ類：佐賀市のトラップは農業試験研究センター調査。嬉野市のトラップは農業技術防除センター調査。

注2) コブノメイガ：神埼市、白石町、伊万里市、嬉野市は各調査員が調査。

佐賀市の粘着トラップは農業試験研究センター、フェロモントラップは農業技術防除センターで調査。

長崎県のデータは、長崎県病害虫防除所提供。

表2 ウンカ類及びコブノメイガ飛来量の平年比較

月	半旬	トビイロウンカ						セジロウンカ						コブノメイガ	
		佐賀市川副町		佐賀市川副町		嬉野市嬉野町		佐賀市川副町		佐賀市川副町		嬉野市嬉野町		佐賀市川副町	
		ネット トラップ		白熱球 ライトトラップ		白熱球 ライトトラップ		ネット トラップ		白熱球 ライトトラップ		白熱球 ライトトラップ		粘着トラップ (20W蛍光灯)	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6	1	0	0.1	0	0.0	0	0	0	4	0	1	0	5	0	0.2
	2	0	0.0	0	0.0	0	2	0	6	0	0	0	5	0	0.2
	3	0	0.1	0	0.3	0	23	0	41	0	14	0	19	0	0.9
	4	0	0.1	0	0.6	0	101	0	40	0	7	0	257	0	1.3
	5	0	0.3	0	0.9	0	127	0	31	0	41	1	939	0	0.7
	6	0	0.0	0	0.4	0	10	0	71	0	181	0	413	0	1.6
7	1	0	0.6	0	2.9	2	175	3	54	0	80	16	1068	0	3.0
	2	0	0.4	0	1.3	1	457	0	31	0	64	97	2590	0	5.5
	3	0	0.3	0	1.8	8	65	4	19	0	32	71	790	0	3.1
	4		0.2		1.4		98		28		68		1930		8.3

注1) ウンカ類: 本年の7月3半旬は佐賀市川副町が7月14日まで、嬉野市嬉野町が7月15日までの値。

平年値は佐賀市川副町が過去34年、嬉野市嬉野町が過去27年の平均値。

ただし、嬉野市嬉野町は、飛来数が極端に多かった平成3年を除外した数値。

注2) コブノメイガ: 本年の7月3半旬は7月14日までの値。

平年値は、過去27年の平均値。

図1 トビイロウンカの発生予想パターン 第2版

(平成26年7月18日、佐賀県農業技術防除センター作成)



(注)

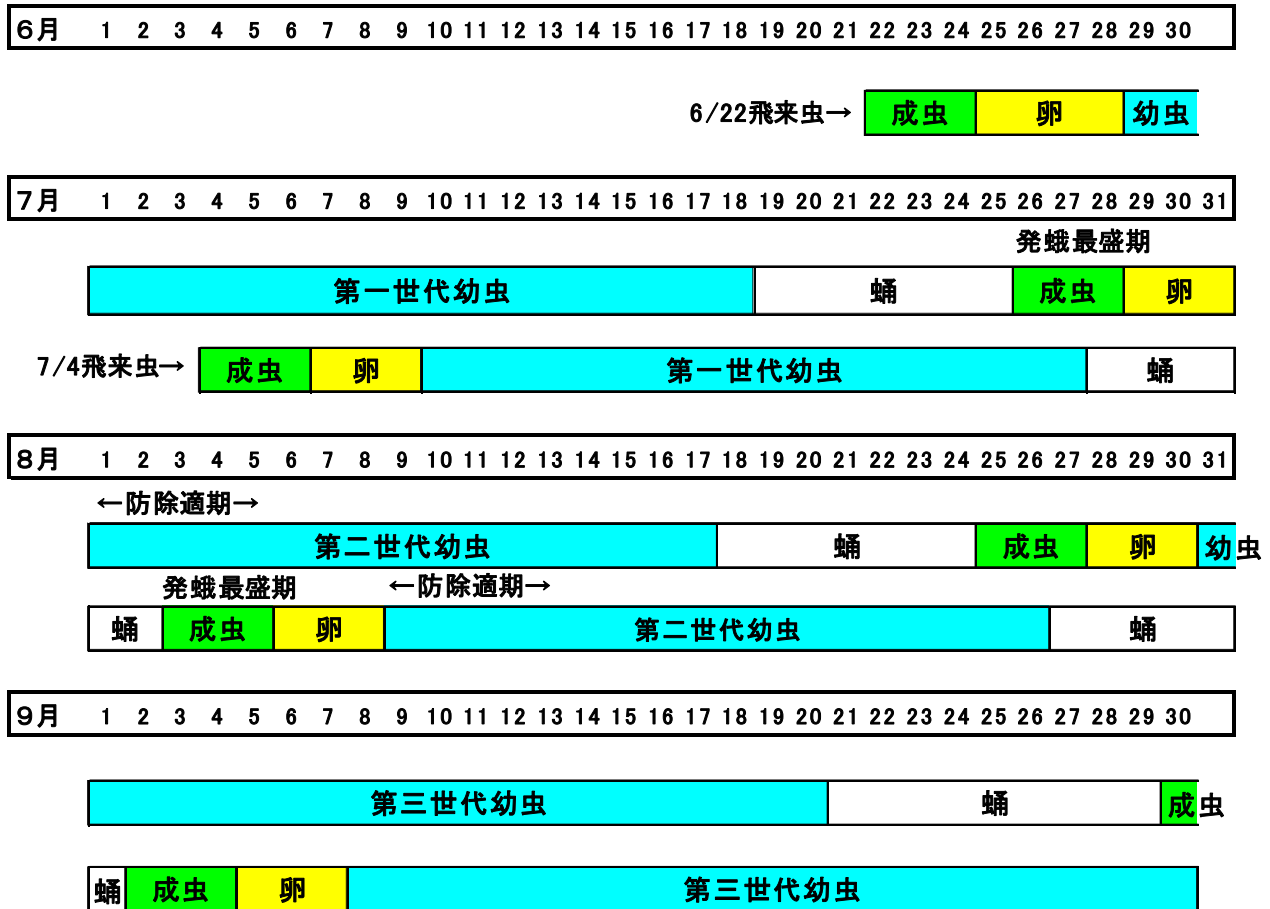
- (1) 7月4日と7月14日の飛来虫を起点として、有効積算温度と佐賀市川副町(農業試験研究センター内)の日最高気温及び日最低気温(7月17日までは今年の実データ、7月18日以降は平年値)を基に、その後の発生を予測した。
圃場への定着は、7月14日の飛来波の方が多いと考えられる。
- (2) **防除適期は、幼虫ふ化揃い期である。**
- (3) 飛来量及び本田での増殖量は地域及び圃場ごとに異なるので、必ず各地域及び圃場ごとの発生状況を確認して防除を実施する。
- (4) 今後、新たな飛来波が加わる可能性もある。最新の飛来状況については、佐賀県農業技術防除センターのホームページ(<http://www.pref.saga.lg.jp/boujo.html>)における「海外飛来性害虫情報」を参照する。

参考: ウンカ類幼虫の見分け方について

	若齢幼虫の体色	中～老齢幼虫の体色	水面での後脚の出し方
セジロウンカ	白っぽい	灰白の斑紋	 : 真横 
トビイロウンカ	白っぽい	薄茶か茶褐色	 : 真横～やや斜め後ろ 
ヒメトビウンカ	黄褐色	淡黄色か薄茶か茶褐色(体側の色が濃い場合あり)	 : 斜め後ろ  

図2 コブノメイガの発生予想パターン 第2版

(平成26年7月18日、佐賀県農業技術防除センター作成)



(注)

(1) 6月22～24日、7月4～6日頃に飛来したコブノメイガのうち、6月22日、7月4日の飛来虫を起点として、有効積算温度と佐賀市川副町(農業試験研究センター内)の日最高気温及び日最低気温(7月17日までは今年の実績、7月18日以降は平年値)を基に、その後の発生を予測した。

(2) **防除適期は、発蛾最盛期の7日後(幼虫ふ化揃い期)である。**

(3) 飛来量及び本田での増殖量は地域及び圃場ごとに異なるので、必ず各地域及び圃場ごとの発生状況を確認して防除を実施する。

(4) 今後、新たな飛来波が加わる可能性もある。最新の飛来状況については、佐賀県農業技術防除センターのホームページ(<http://www.pref.saga.lg.jp/boujo.html>)における「海外飛来性害虫情報」を参照する。